

## 2020年度 健康科学部心理学科2回生 専門教育ガイダンス資料

光華naviでの履修登録にミスがあると単位が認定されません。十分注意してください。

### 【履修登録までの流れ】

授業は4月20日(月)から開始します。それまでに各自で通年の時間割(前期・後期)を作成してください。

なおWeb履修登録期間は4月13日(月)0:00～4月24日(金)23:59です。後期履修登録期間で、科目の追加・変更が可能です。後期に受講する科目も前期履修登録期間中にすべて登録してください。

わからない点がある場合は、クラスアドバイザーあるいは教務委員(今西)に問い合わせてください。また、4月13日(月)以降、できる限り早く履修登録を行い、4月16日(木)までにはいったん完成させるようにしてください。

履修科目の取消期間は4月28日(火)です。GPA(学業平均値)に影響しますので、受講を取りやめた科目は必ず履修を取り消してください。

履修登録について、わからないことがある場合は、教務委員の今西までメール(amanishi@mail.koka.ac.jp)で質問してください。

### 再履修上の注意

- ・1年次の必修科目が不合格になっている人は、必ず再履修すること。

## I. リベラルアーツ教育科目—卒業所要単位30単位。うち、10単位必修、20単位選択(選択必修4単位を含む)

卒業に必要な30単位のうち、不足しているものを選択して履修すること。また、昨年単位が取れなかった必修科目は必ず再履修すること。

＜2年次必修科目＞ **伝統文化** 後期水4。a、b、cクラスのうち、いずれかを選択して必ず履修すること。

### ＜リベラルアーツ教育科目の再履修＞

1年次の必修科目 9単位：仏教の人間観Ⅰ・Ⅱ、京都光華の学び、アカデミックスキル入門、アカデミックライティング、総合英語Ⅰ・Ⅱ

選択必修：「人文・社会・自然」のⅠ群、Ⅱ群(履修のてびき pp.123-124 参照)からそれぞれ少なくとも2単位は修得する必要があるため、注意すること。

選択科目：残り16単位を自由に選択して履修すること。

1年次の必修科目が不合格になっている人は、必ず再履修すること。

・「総合英語Ⅰ・Ⅱ」「仏教の人間観Ⅰ・Ⅱ」の再履修については、不合格となったのと同じ科目(前期Ⅰまたは後期Ⅱ)を再履修すること。クラス指定はないので、時間割上都合の良いクラスを履修すること(英語は各時間割の上に表記されているクラスほど難易度が高い)。

・「アカデミックライティング」は後期火1aクラス、後期火2dクラス、後期木3gクラス、後期木4mクラスのいずれかを選択して履修すること。

## II. 心理学科の専門科目(卒業所要単位98単位。うち、2年次必修10単位)

### ＜2年次必修科目＞

以下の科目は必修なので、必ず履修すること。今年度単位が取れなかった場合は、来年以降再履修する必要がある。

**心理学基礎演習Ⅲ**・**心理学基礎演習Ⅳ**

クラス指定制。前期・後期金3のaクラス(徳田先生)、前期・後期木3のbクラス(鳴岩先生)、前期月3・後期木2のcクラス(藪添先生)のうち、指定されたクラス(⇒別紙「心理学科2回生クラス」参照)を履修すること。

資格関連科目、再履修科目と時間割が重なる場合は、オリエンテーション時にその旨を申し出ること。

(原則、必修科目を2回生で履修し、3回生で資格関連科目を受講する。)

**臨床心理学概論** 前期月2、**心理学的支援法** 後期月4、**発達心理学** 前期水1、**社会・集団・家族心理学** 前期水2

## <専門必修科目の再履修>

心理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ 前期・後期 金4のaクラス(千野先生)、前期・後期 金4のbクラス(礪波先生)、前期・後期火4のcクラス(藪添先生)のうち自由に選択して履修すること。

心理学概論 前期月4、社会心理学入門 前期金1、発達心理学入門(保育の心理学) 後期火2、臨床心理学入門 前期火1、心理学統計法 後期金3、心理学研究法 前期金3、専門職の連携(基礎) dクラス 後期水2は必修であるので、単位を取得できていない場合は必ず再履修すること。

<選択科目> 次の科目は、必修ではないが、今年度は必ず履修すること。

心理学実験Ⅰ・心理学実験Ⅱ 後期火3・4。Ⅰ・Ⅱとセットで登録すること。

\*公認心理師資格科目。4年次に「卒業論文」を選択する場合はこの科目を修得しておく必要がある。

心理学データ解析Ⅰ・心理学データ解析Ⅱ 前期木5・後期木5

指定されたクラスを履修すること。aクラス(19P001-19P034)、bクラス(19P035-19P067)

\*4年次に「卒業論文」を選択する場合はこの科目を修得しておく必要がある。

心理的アセスメントⅠ・心理的アセスメントⅡ 前期火3・4。Ⅰ・Ⅱとセットで登録すること。

\*前期授業開始前に5班に分けた名簿を掲示する。

\*3年次「心理演習Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅰ・Ⅱ」を受講するためにはこの科目を修得していることが条件となるので、注意すること。

## ●保育士資格取得希望者以外履修不可の科目

子ども家庭支援論、保育原理、教育原理、

および自由科目の社会保障Ⅰ・Ⅱ、子どもの食と栄養b、子育て支援は、保育士資格取得希望者のみ対象の科目であり、

それ以外の者は受講できないので履修登録しないこと

履修したい場合は今西あるいは礪波先生に事前に相談すること。

●大学院受験者推奨科目 心理学英語文献講読Ⅰ 後期水2 心理学特別演習Ⅰ 後期月2

## ●社会調査士資格科目 ※「履修のてびき」(pp.298-300)にて履修科目を確認すること

社会と統計 前期金4、心理学データ解析Ⅰ a,bクラス(前期木5)、心理学データ解析Ⅱ a,bクラス(後期木5)、

## ●認定心理士関連科目 ※「履修のてびき」(pp.290-294)にて履修科目を確認すること

次の科目は、必修ではないが、認定心理士取得を目指す人は必要条件となるので履修すること。

教育心理学(後期火5)、心理学実験Ⅰ・心理学実験Ⅱ(後期火3・4)

## ●公認心理師科目 (※詳細は「履修のてびき」pp.303-304)

公認心理師資格取得を目指す人は以下の選択科目を必ず履修すること。

なお、3年次開講科目で公認心理師資格必修科目である「心理実習Ⅰ・Ⅱ」「心理演習Ⅰ・Ⅱ」を履修するためには、**今年度の心理学科専門必修科目の全科目で出席率が80%以上であることに加えて、「公認心理師の職責」「心理的アセスメントⅠ」「心理的アセスメントⅡ」の単位を取得済みでなければならない。**

神経・生理心理学 後期火2、知覚・認知心理学 後期月3、学習・言語心理学 後期火1

公認心理師の職責 (通年集中) ※開講日時は時間割の集中講義欄で確認すること。障害者・障害児心理学 前期木2

心理的アセスメントⅠ・Ⅱ 前期火3、4 心理学実験Ⅰ・Ⅱ 後期火3、4

感情・人格心理学 前期火5、司法・犯罪心理学 前期火2、産業・組織心理学 前期月4、

### Ⅲ. 自由科目・他学科科目履修・短期大学部科目等履修 ※要卒単位(128単位)に含まれない

資格取得に関する科目として、要卒単位に含まれない自由科目及び他学科科目、短期大学部科目の履修が認められている。ただし、要卒単位には含まれないので注意すること。

保育士資格に関する自由科目については、資格志望者のみの履修とする。

上級情報処理士・情報処理士の資格科目及び公務員試験受験対策科目として、心理学科カリキュラム外のキャリア形成学科科目を履修することができる。また、ピア・ヘルパーの資格取得のため、短期大学部ライフデザイン学科の科目も履修することができる。可能な限り今年度履修すること。短大部の科目を受講する場合は、科目等履修申請用紙(対象：ライフデザイン学科科目)に記入の上、教務担当教員(今西)に申し出た上で、捺印後の書類を学生サポートセンター修学担当に提出すること(締め切りを学生サポートセンターで確認のこと)。

●上級情報処理士⑨・情報処理士⑨資格 (「履修のてびき」上級情報処理士⑨p.262～、情報処理士⑨p.268～参照)

①上級情報処理士⑨科目で今年度履修が可能な科目：

要卒選択科目 女性とビジネス aクラス(後期火3)、bクラス(後期火4) (←「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」を優先)

心理学データ解析Ⅰ a、bクラス(前期木5)

心理学データ解析Ⅱ a、bクラス(後期木5)

自由科目(非要卒科目)

情報技術の理解(後期水5)、情報社会の理解(前期金2)

コンピュータ活用A aクラス(前期木2)、cクラス(前期金2)、bクラス(後期金3)

コンピュータ活用B aクラス(前期月1)、cクラス(前期月2)、bクラス(後期月4)

※以下の科目は今年度他の心理学科必修科目・履修推奨科目の時間割と重複するため、来年度以降に履修すること。

女性と経済 aクラス(前期水1)、bクラス(前期水2)

女性の生き方・働き方 前期火3 女性と現代社会 後期火3

②情報処理士⑨科目で今年度履修が可能な科目：

要卒選択科目 心理学データ解析Ⅰ 心理学データ解析Ⅱ

非要卒科目 情報技術の理解 情報社会の理解 コンピュータ活用A コンピュータ活用B

●公務員試験対策科目 (光華naviで履修登録可)

希望者は「公務員試験のための履修科目等の説明会」(4月17日(金))に必ず出席すること

公務員特別演習基礎(後期木5) ←2年次配当だが、今年度は「心理学データ解析Ⅱ」と重複するので来年度履修

※公務員対策講座は授業外にも開講されているため、そちらも併せて受講することが望ましい。

「課外講座(数的処理) ※16～18回は3限(17回は4限有)」(後期水5)

「課外講座(文章理解・数的処理入門・模擬試験)」(前期木5) ←今年度は「心理学データ解析Ⅰ」と重複するので来年度履修

●ピア・ヘルパー資格科目 (ライフデザイン学科科目、学生サポートセンター修学担当に科目等履修生出願票を提出)

臨床心理学、カウンセリング理論、カウンセリングスキル

### Ⅳ. 卒業論文と卒業研究について

卒業論文 科目の主題：自分の選択したテーマに適したアプローチに基づいてデータを収集して実証的研究を行う。または幅広いレビューを元にして新しい展望を得て文献研究としてまとめる。

卒業論文の文字数は12,000字以上とする。なお、卒業論文については口頭試問を実施し、評価を行う。

\*4回生の4月時点の修得科目の条件を下記の通り設ける

「心理学統計法」、「心理学研究法」、「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」、「心理学データ解析Ⅰ・Ⅱ」の計10単位を修得済みであること

\*口頭試問は、卒業論文提出後、1月末頃に実施する。主査1名、副査1名が論文を査読した上で、計20分の質疑応答を行う。

\*3年次後期の専門演習の最終授業までに卒業論文計画書(A4で1枚)をゼミ担当教員に提出し、卒業論文を選択することの承諾を得る。

**卒業研究** 科目の主題：先行研究を基礎として自分のテーマに基づいて課題を発見し、心理学的観点から考察することができる。卒業研究の文字数は6,000字以上とする。修得科目の条件については設けない。

**卒業論文・卒業研究共通** 卒業論文・卒業研究ともに発表会を行う。卒業論文・卒業研究提出後、1月21日(木)に実施する。10分間で発表する(A3で1枚のレジュメを用意する)。

## 5. その他の注意事項

- ・残りの時間は、まずはリベラルアーツ教育科目(必修科目10単位を含め30単位以上修得)から履修し、さらに残った時間で専門科目から履修すること。ただし、卒業要件に関する科目については、1年間に履修登録できる単位数の上限は48単位以内とする。4年間で128単位の修得が必要であり、1年間の修得単位があまりに少ないと(32単位未満が目安)、4年間で卒業できず、留年が必要となる可能性が出てくるので留意すること(2年終了時に合計32単位未満なら4年間で卒業できないことが確定的になる)。
- ・大学コンソーシアム京都単位互換制度を利用する場合は、学生サポートセンターで締め切りを確認し、それまでに申請するように注意すること。
- ・聴講(履修登録をしていない学科目の受講)を希望する者は、担当教員の許可を得たうえで、修学担当に申し出ること。ただし聴講科目は要卒単位としては認められない。

**心理学科2回生 モデル時間割例** ※主な資格に関連しない選択科目は記載していません。

(必)必修科目、(保)保育士必修科目、(公)公認心理師科目、(保心)保育心理士必修科目、(社調)社会調査士科目

	1		2		3		4		5	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
月			臨床心理学概論(必/公)	心理学特別演習Ⅰ(選)	心理学基礎演習Ⅳc(必)	知覚・認知心理学(公)	産業・組織心理学(公)	心理学的支援法(必/公)		
火		学習・言語心理学(公)	司法・犯罪心理学(公) / 児童・家庭福祉(保)	神経・生理心理学(公)	心理的アセスメントⅠ(公/保心)	心理学実験Ⅰ(公)	心理的アセスメントⅡ(公/保心)	心理学実験Ⅱ(公) / 子どもの食と栄養b(保)	感情・人格心理学(公)	
水	発達心理学(必/公/保)		社会・集団・家族心理学(必/公)	心理学英語文献講読Ⅰ(選)				伝統文化a, b, c(リベラル必修)		
木	家庭支援論(保)		障害者・障害児心理学(公/保心)	子どもの心理臨床(保心) / 心理学基礎演習Ⅳc(必)	心理学基礎演習Ⅲb(必)	心理学基礎演習Ⅳb(必)	公認心理師の職責(公) ※集中講義		心理学データ解析Ⅰ a, b(社調) / 子どもとことば(保)	心理学データ解析Ⅱ a, b(社調)
金		子どもと人間関係(保)			心理学基礎演習Ⅲa(必)	心理学基礎演習Ⅳa(必) / 教育原理(保)	保育原理(保) / 社会と統計(社調)			

通年集中：公認心理師の職責(公) 初日6月25日(木)4講時